

A:十分に成果があった B:成果があった C:少しの成果があった D:成果がなかった

羅 針 盤			結 果	
	評価項目	具体的数値項目	評価	改善策 等
I 保護者との連携	1 保護者への情報提供	①「学校の様子や子供の様子がよく分かる」と答える保護者が80%以上である。	A (91%)	○オクレンジャーやホームページによる情報提供を積極的に進めるとともに、学級の様子や子どもたちが学んでいる姿が伝わる学校だより・学級だよりの発信に努めます。
	2 連携のための環境づくり	②学校の諸行事に参加している保護者が80%以上である。	A (98%)	○期日にゆとりをもって行事等のお知らせをお届けできるようにし、関係機関と協議をしながら日程の配慮や参加環境の整備など、保護者の方々が学校行事に参加しやすいよう務めます。
	3 保護者への対応	③「学校は、日頃から連絡や相談をしっかりと聞く姿勢を持っている」と答える保護者が80%以上である。	A (90%)	○保護者の方々のお話に真摯に耳を傾けるとともに、常に明確な情報提供を心掛け、保護者の皆様が安心して連絡や相談ができる学校づくりに努めます。
II 確かな学力	4 分かる授業	④「学校の授業がよく分かる」と答える児童が80%以上である。	A (95%)	○各教科の目標に迫るICTの効果的・効率的な活用を行いつつ、子どもたちが主体的に参加できる授業を進め、自ら考えたり、対話を心掛けたりすることができる学習機会の充実に努めます。
	5 基礎・基本の定着	⑤教科の基礎・基本が身に付いている児童が80%以上である。	A (95%)	○聞くこと、話すこと、思考を働かせることがよくできる学習の過程を常に意識すると共に、個人の状況に応じた学びを十分に進めることができる授業実践に努めます。
	6 評価	⑥「児童の学力や努力を適切に評価し、その結果を生かしている」と答える職員が80%以上である。	A (100%)	○授業ごとに、子どもたちと学習の「めあて」を共有し、分かりやすく意欲もてる学習課題のもとで、子どもたちが学習の成果を自ら振り返ることができる授業を進めます。
	7 学習習慣	⑦「宿題や自主学習、読書など、家で毎日勉強をしている。」と答える児童が80%以上である。	B (89%)	○家庭での学習を次の授業に効果的に生かすことができる授業づくりを進め、家庭学習と授業とのつながりを積極的に心掛け、保護者との連携を図り、家庭での学習習慣の確立に努めます。
III 豊かな心	8 挨拶・言葉づかい	⑧進んであいさつや返事ができる児童が80%以上である。	A (90%)	○教職員自ら積極的に声を掛けたり子ども同士の挨拶の励行に努めたりし、子どもたちが気持ちよく挨拶や返事ができる明るい学校づくりを進めます。
		⑨時や場・相手に応じた適切な言葉遣いができる児童が80%以上である。	A (93%)	○授業中における教員が子どもたちに掛ける言葉遣いに配慮したり、人権を意識した指導・助言を行ったりするとともに、保護者との連携を図り、学校と家庭の中で時や場・相手に応じた適切な言葉遣いについて考えさせる機会を大切にします。
	9 いじめのない温かな人間関係	⑩「学校に来るのが楽しい」と答える児童が80%以上である。	C (76%)	○学校の中で楽しく毎日を過ごすことができる関係づくりをより一層進めるとともに、子どもたちに分かる授業の提供に努め、一人一人を認めてやりがいや自己肯定感を高めるられるようにします。
		⑪いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。	B (88%)	○学校全体でいじめについて適宜考え、いじめをしない、許さない心や行動を身に付けられるよう努めます。 ○子どもたち一人一人の悩みや不安を慎重且つ丁寧に聞き取り、いじめの早期発見・早期解決に努めます。
		⑫相手の立場や気持ちを考えた親切的言動がとれる児童が80%以上である。	A (97%)	○学校生活の様々な場面を生かして、相手のことを意識したり考えたりする中で人権教育を意識した思いやりのある行動が取れる子どもたちを育てるために必要な学習の充実に努めます。

A:十分に成果があった B:成果があった C:少しの成果があった D:成果がなかった

羅 針 盤			結 果	
	評価項目	具体的数値項目	評価	改善策 等
III 豊かな心	10 学校や家庭の ルール	⑬学校のきまりや約束を守って生活している児童が80%以上である。	A (96%)	○きまりや約束を守ることの大切さを学ぶ機会を充実させ、子どもたちが自分の行動をふり返り、きまりや約束を守れた経験を積み重ねることができるよう努めます。
		⑭「家の手伝いをしたり、家族との時間を大切にしたりしている。」と答える児童が80%以上である。	A (94%)	○家事・手伝いや家庭で過ごす時間を大切にすることを励行するとともに、家庭での約束事について親子で話しができる機会を作れるように努めます。
		⑮「児童への共感的な理解のもとに、間違った言動には、毅然とした態度で指導している。」と答える職員が80%以上である。	A (100%)	○間違った言動について子どもたち自身の気付きを尊重し、よりよい言動について教職員が子どもたちと共に考え確かめ合える指導を心掛けます。
IV 健康・体力	11 基本的生活習慣（家庭教育）	⑯「毎日、しっかりと朝食を食べて登校している」と答える児童が80%以上である。	A (96%)	○給食指導や学級活動などを通して、食の大切さについて学習する機会を大切にし、食生活を通じた健康な生活習慣や体づくりについて学べるよう努めます。
		⑰「毎日、早寝・早起きをしている」と答える児童が80%以上である。	B (82%)	○毎朝の健康調査を通して、子どもたちがその時の健康状態を自ら確かめる習慣を確実にするとともに、健康的な生活を送ることの大切さを意識する学習の機会充実に努めます。
	12 体づくり	⑱「毎日、体を動かして遊んだり、運動したりしている」と答える児童が80%以上である。	A (91%)	○体育の授業や業間の体育的活動での体づくりを通して、体を動かすことの大切さに気付き、楽しく運動できる習慣づくりをより一層推し進め、体育好きな子どもたちの育成に努めます。
V 安全確保・施設設備	13 学校の施設設備	⑲「毎月学校施設の安全点検を行い、課題のある箇所を確認し、適切な処置をしている」と答える職員が80%以上である。	A (100%)	○職員による毎月の安全点検を徹底し、課題が見つかった際には早急に安全対策を講じるなど共に、子どもたちが安心して毎日を過ごすことができる学校管理に努めます。
	14 学校の安全対策	⑳「児童が自分の安全を確保できるための指導を徹底し、非常事態を想定した実効性のある訓練が行えている」と答える職員が80%以上である。	A (100%)	○学期1回以上の訓練を計画的に実施し、訓練状況をもとに課題に応じたマニュアルの見直しを行うと共に、有事の際に子どもたちが安全に避難行動をとることができるようにします。
	15 安全対策の連携	㉑「学校は、子供たちが安全に登下校できるように、保護者や地域と協力して取り組んでいる」と答える保護者が80%以上である。	B (88%)	○通学路における危険箇所を把握するために、定期的に保護者、地域の方々のご意見をお聞きし、子どもたちへの注意喚起と対策の徹底を進め、解消に向けて関係機関へ働き掛け協力を仰ぎます。
VI 進路・生き方	16 夢や希望	㉒「将来への夢や希望をもっている」と答える児童が80%以上である。	A (98%)	○実態に即した様々な体験を通して、自ら考えたり判断したりし、行動する学びを大切に常目標をもって生活する習慣を身に付けることで、自分から思い描く未来・希望を大切にできる児童の育成に努めます。
		㉓「学校は、児童が家族と将来への夢や希望について話す機会を設けている」と答える保護者が80%以上である。	D (65%)	○担任より保護者へキャリア教育の重要性に積極的に触れ、家庭と学校が一体となり、子どもたちのキャリア発達を支援していきます。 ○キャリア・パスポートの定期的な持ち帰りを必ず行い、お子さんの考えや目標としていることを保護者の方々にご覧いただき、お子さんと将来の夢や希望について話す機会を積極的に設けます。

※自己評価欄に記載した数値は、肯定的な評価（調査結果4・3）の割合です。